2006年7月28日

統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」をベトナムで販売開始
ベトナムIT市場の拡大に対応し、現地進出日本企業における
システム運用の高信頼化を支援

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学／以下、日立)は、このたび、統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」のベトナムでの販売を8月1日から開始します。今回の「JP1」のベトナムでの販売を通じ、日立は今後、現地へ進出する日本企業に対してシステム運用の高信頼化を支援していきます。

今日、BRICsなどに代表される経済・IT市場の発展を遂げつつある国々とならび、各種製造業などの企業進出がめざましいベトナムにおいても、今後の情報システムの拡大が見込まれる状況です。日立はこれまで、中国をはじめ、シンガポールなど東南アジア地域におけるミドルウェア事業展開の一環として、日本国内のシステム運用管理ソフトウェア市場で8年連続トップシェアの「JP1」の提供を進めてきましたが、今後ベトナムへ進出する日本企業に対しても、拡大する情報システムを支える運用の高信頼化を支援していきます。

■「JP1」ベトナム販売の概要

現地進出企業のシステム運用管理においては、ビジネスの拡大に伴い増加するPCなどのIT資産管理やセキュリティ管理などを迅速・確実に行い、現地拠点の限られた人的リソースでシステムを円滑かつ安定的に稼動させることが運用の高信頼化を図る上で重要なポイントとなります。今回は、現地事情に通じた販売パートナーからの製品販売、および「JP1」専任サポートスタッフの現地(ハノイ)への配置などにより、これらの状況に対応していきます。

(1) 資産・配布管理、およびクライアントセキュリティ管理製品の販売

今回、「JP1」シリーズの資産・配布管理、及びクライアントセキュリティ管理製品をベトナム国内で販売開始します。これらの製品の適用により、クライアントPCへのソフトウェアの自動配布、自動インストールの実行、クライアント構成変更などを管理できるほか、PC側でのソフトウェア起動やファイルの操作、印刷操作などの履歴が管理でき、クライアントPC環境での資産管理の効率化、および情報漏えい・不正操作の抑止などが可能です。

また、クライアントセキュリティ管理製品では、セキュリティポリシーに違反するPCの自動検知及び検疫・隔離・復旧なども行え、安全なシステム環境を維持します。

(2) 現地拠点およびパートナ企業との連携による製品販売と、現地状況に対応した技術サポートを推進

海外進出企業における現地でのシステム運用を、限られた人的リソースや現地のIT状況に対応して円滑かつ安定的に行うためには、製品機能だけでなく、現地事情に通じた技術サポートが提供できるかがポイントとなります。

今回は、東南アジア地域での「JP1」販売パートナーとして実績があり、タイおよびベトナムなどで高い技術サポート力をもつシステムインテグレータのMaterial Automation (Thailand) Co., Ltd (以下、MAT社)から製品販売を行うほか、日立アジア(HITACHI ASIA LTD.)のハノイ拠点にJP1専任サポートスタッフを配置し、MAT社との連携により迅速な技術サポートを行い、円滑で安定的なシステム運用を支援します。

■MAT社 （Material Automation (Thailand) Co., Ltd） 概要

・事業拠点　　：本社　タイ　（拠点　日本、他）

・事業内容　　：システムインテグレーション、ITコンサルティング

・ホームページ　：http://www.mat.co.th

■日立アジア（HITACHI ASIA LTD.） 概要

・事業拠点　　：本社　シンガポール　(拠点　マレーシア、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド)

・事業内容　　：電力・産業機器、家電、情報システム事業

・ホームページ　：http://www.hitachi.com.sg/

■取扱事業部・照会先

株式会社　日立製作所　情報・通信グループ　ソフトウェア事業部　企画本部　計画部　【担当：黒須】

〒２４４－８５５５　神奈川県横浜市戸塚区戸塚町５０３０番地

電話：０４５－８６２－８７２４　(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。